# 統 合 分 野

# 8 単位 (210 時間)

#### <ねらい>

- ○地域で生活する対象の多様なニーズに対応する在宅ケアシステムにおける看護のあり方を学ぶ。
- ○療養者と他の家族成員の心身の健康状態の回復・維持・増進をめざす看護の基礎を学ぶ。
- ○療養者が望む生き方、暮らし方を支え、生活の質の維持・向上をめざす。
- ○家族の発達課題を達成するためのセルフケア機能を支援する方法を学ぶ。
- ○看護管理の原則を理解し、よりよい看護サービスとは何かを考える。
- ○医療安全についての基礎知識を学び、安全を守るための看護の方法を理解する。
- ○災害時における「人間」と「生活」を視点にした看護を学ぶ。
- ○ケーススタディの展開・発表を通して自己の看護観を養う。

# <構 成>

教育内容	科目	単位	時間数
在宅看護論	在宅看護概論	1	30
	在宅看護の技術	1	30
	在宅医療に伴う支援	1	30
	在宅看護過程	1/4	15/105
看護の統合と実践	ケーススタディ	1	15
	看護マネジメント	1	30
	災害と看護	1	30
	看護の統合と実践	1/4	30/105
合 計		8	2 1 0

授業科目名	在宅看護概論			担当教員		馬渕 由美子	<u>,                                     </u>
分野	統合分野	教育内容	在宅看護論	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	1年次

実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性
地域病院や訪問看護ステーションで在宅看護を経験。退院支援や在宅看護で療養者だけでなく、家族・介護者への支援も行ってきた。	在宅での医療技術・観察する視点・看護を実務経験を活かし、事例を紹介・活用しながら在宅看護の概要について講義を行う。

#### 授業のねらい・概要

- 1. 在宅看護の必要性と目的について理解を深める
- 2. 在宅看護の対象を理解する
- 3. 地域看護の概念とその枠組みを学ぶ
- 4. 保険医療福祉対策を理解する

	受業内容および方法								
回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと						
1	在宅看護の歴史	講義							
2	在宅看護論の対象者(1)	講義	視聴レポート(授業後)						
3	地在宅看護論の対象者(2)	講義/グループワーク	地域レポート						
4	看護が提供される多様な場	講義							
5	在宅看護論に関連する法と制度と施策(1)	講義							
6	在宅看護論に関連する法と制度と施策(2)	講義							
7	健康と暮らしを支える看護(1)	講義							
8	健康と暮らしを支える看護(2)	講義							
9	健康と暮らしを支える看護(3)	講義・グループワーク	課題シート						
10	健康と暮らしを支える看護(4)	発表	事後レポート						
11	健康と暮らしを支える看護(5)	講義							
12	地域で暮らし続けることを支援するためのマネジメント(1)	講義							
13	地域で暮らし続けることを支援するためのマネジメント(2)	講義							
14	地域で暮らし続けることを支援するためのマネジメント(3)	講義・グループワーク	課題シート						
15	地域で暮らし続けることを支援するためのマネジメント(4)	発表	事後レポート						
_									

# 使用教科書・教材・参考書

ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版

# 成績評価の方法

筆記試験80点、成果物20点

#### 備考

授業開始前の事前課題として「生活体験レポート」を夏休みに作成し、休み後に提出。

授業科目名	在宅看護の技術			担当教員       安部安恵			
分野	専門分野	教育内容	在宅看護論	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	2年次

実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性
介護保険制度の施設・療養病床また在宅訪問診療・在宅入浴で看護 を経験している。	実務経験と実体験を活かし、在宅生活のアセスメントをし、実施・評価する過程について実践的な事例を含めた講義と技術指導を行っている。

#### 授業のねらい・概要

- 1. 在宅療養に必要な看護技術について理解する。 2. 個々の在宅療養者に対して、適切な支援を行うための姿勢・態度を習得する。

授	受業内容および方法							
回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと					
1	訪問看護の基本的姿勢とマナー 一般常識と配慮	講義						
2	在宅におけるマナーの実際 立ち居振る舞いと留意点	演習/講義	課題シート 訪問看護師の身だしなみ					
3	在宅技術の実際(1) 福祉用具展示場の見学・体験	見学/体験						
4	在宅技術の実際(2) 在宅における食を整える技術	演習/講義						
5	在宅技術の実際(3) 在宅における排泄を整える技術	演習/講義						
6	在宅技術の実際(4) 在宅における清潔を整える技術	演習/講義						
7	在宅技術の実際(5) 在宅における移動・移乗を整える技術	演習/講義						
8	在宅技術の実際(6) 排泄・清潔・移動・移乗の技術	演習	摘便の動画視聴と手技レポー ト					
9	在宅における日常生活援助の工夫、課題の提示 看護展開における知識と留意点	講義						
10	対象に合わせた日常生活援助のアセスメント 3つの視点と区分の理解	演習/講義	課題シート C6脊髄損傷事例 を読む					
11	対象に合わせた日常生活援助のアセスメント 事例を読み解く	演習/講義	課題シート 事例療養者・家 族の分析考察					
12	対象に合わせた日常生活援助の立案(1)	演習/講義	課題シート 事例療養者・家 族の支援					
13	対象に合わせた日常生活援助の立案(2)	演習	課題シート 事例療養者・家 族の支援					
14	在宅の場における日常生活援助の実際(1)	演習	課題シート					
15	在宅の場における日常生活援助の実際(1)	講義						
<i>[</i> 击]	Ⅰ 丑 劫 刹 聿 • 劫 材 • 矣 孝 聿							

#### 使用教科書・教材・参考書

ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術 メディカ出版

# 成績評価の方法

安部安恵:筆記試験45点、成果物15点

馬渕由美子:筆記試験40点

#### 備考

授業科目名	在宅医療に伴う支援			担当教	大村	馬渕由美子 喬博美 角野修	
分野	専門分野	教育内容	地域•在宅看護論	総単位 時間数	1単位 30時間	年次	2年次

実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性
地域病院や訪問看護ステーションで在宅看護を経験。退院支援や在宅看護で療養者だけでなく、家族・介護者への支援も行ってきた。	在宅での医療技術・観察する視点・看護を実務経験を活かし、事例を紹介・活用しながら講義と技術の授業・演習を行う。

#### 授業のねらい・概要

- 1. 在宅で行われる医療処置及び医療技術について理解する。
- 2. 医療処置が必要な在宅療養者と家族の看護を理解する。 3. 在宅療養者及び家族を尊重した家族支援について理解する。

授	業内容および方法		
回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと
1	医療処置が必要な療養者・介護者の看護(1) 在宅における経管栄養法の看護	講義/GW	教科書(技術)胃ろうの動画視 聴
2	医療処置が必要な療養者・介護者の看護(2) 在宅における中心静脈栄養法の看護	講義/GW	教科書(技術)点滴注入の動 画視聴
3	医療処置が必要な療養者・介護者の看護(3) 在宅酸素・在宅人工呼吸器の実際	講義/演習	
4	医療処置が必要な療養者・介護者の看護(4) 在宅酸素療法を必要とする人への看護	講義/GW	教科書(技術)酸素供給装置 の動画視聴
5	医療処置が必要な療養者・介護者の看護(5) 在宅人工呼吸療法を必要とする人への看護	講義/GW	教科書(技術)マスクのアル 方。気管カニューレの動画視 聴
6	医療処置が必要な療養者・介護者の看護(6) 在宅における服薬管理と看護	講義/GW	
7	医療処置が必要な療養者・介護者の看護(7) 在宅における膀胱留置カテーテルの看護	講義/GW	教科書(技術)カテーテル管 理の動画視聴
8	医療処置が必要な療養者・介護者の看護(8) 在宅におけるストーマの看護	講義/GW	教科書(技術)装具の交換の 動画視聴
9	医療処置が必要な療養者・介護者の看護(9) 在宅における褥瘡をもつ人への看護	講義/GW	教科書(技術)実際・手順の動 画視聴
10	自己決定を必要とする人への看護(1)	講義	ALSの病態・看護、難病に対 する制度・保険
11	自己決定を必要とする人への看護(2)	実技演習	課題シート
12	在宅で療養する子どもへの支援	講義	
13	在宅における疼痛管理	講義	
14	在宅で看取りを迎える療養者と家族への看護	講義	
15	在宅で療養する精神に障がいを抱える人への看護	講義	
<i>I</i> -1- I	日 <del>                                     </del>		•

#### 使用教科書・教材・参考書

ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術 メディカ出版

# 成績評価の方法

筆記試験80点、成果物20点

備考

授業科目名	在宅看護過程			担当教員	777	安部安恵		
分野	専門分野	教育内容	地域•在宅看護論		総単位 時間数	1単位 15時間	年次	2年次

実務経験のある教員による授業科目	
実務経験の概要	実務経験と授業科目との関連性
	実務経験と実体験を活かし、在宅生活のアセスメントをし、実施・評価する過程について実践的な事例を含めた講義と技術指導を行っている。

			概	
業(				

1. 家族を一単位とした看護過程の概要を理解する。

_	授業内容および方法							
回数	授業内容	授業方法	授業までに準備しておくこと					
1	療養者の看護過程の特徴	演習/講義						
2	療養者への初回訪問時の面接技術と情報収集	演習/講義						
3	療養者のアセスメント	演習/講義	事前課題:課題シート 観察項目の一覧作成					
4	家族の介護力のアセスメント	演習/講義	事前課題:課題シート 観察項目の一覧作成					
5	療養者と家族への看護計画の実際	演習/講義	事前課題:課題シート 事例の情報収集とアセスメント					
6	療養者と家族への看護計画の立案(1)	演習/講義	事前課題:課題シート 事例の情報収集とアセスメント					
7	療養者と家族への看護計画の立案(2)	演習	事前課題:課題シート 事例の情報収集とアセスメント					
8	療養者と家族への看護計画の立案(3)	演習						
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
使	用教科書・教材・参考書							

ナーシング・グラフィカ 在宅看護論① 地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシング・グラフィカ 在宅看護論② 地域療養を支える技術 メディカ出版

# 成績評価の方法

筆記試験80点、成果物20点

備考